

支 援

町田市学校支援VCM 開催される

10月28日(月)の午前9時30分より午後0時30分まで、市役所2階・市民協働おうえんルームにて、町田市生涯学習インストラクターの会との共催で、町田市学校支援VCMミーティングが開催されました。今回の研修では、「シニアボランティアの力を活かすために」をテーマに、NPO法人まちと学校のみらい副代表・あおば学校支援ネットワーク代表の竹本 靖代氏の「地域とともにある学校づくり～コーディネーターの重要性」の講演、次に、東京都健康長寿医療センター研究所の倉岡 正高氏と鈴木 宏幸氏から「シニアボランティアの力を活かしたコーディネート」及び「記憶とコミュニケーション、認知機能の理解」についてのレクチャーをしていただきました。



3氏のお話を受け、参加者はグループワークを行い、ここでは講演の感想や学校のニーズや実情を踏まえてどのようなシニアボランティアのコーディネートが考えられるかを話し合い、紙にまとめました。最後に、講師から講評をいただき、終了となりました。

以下に、参加者からの声を掲載させていただきます。

《講演の感想》

◇シニアへの接し方を確認できた。◇実践に基づいた具体的な話でよかった。◇シニアと子供の両方のためになるのでシニアVを活用したい。◇シニアの認知について見方が変わった。◇シニアVへの説明の仕方はとても勉強になった。「自筆のメモ」は今まで気付かなかった。◇学校や子供たちだけでなく地域の活性化にもつながる。

《どんなシニアVの活動が考えられるか?》

◇戦争体験の語り部 ◇安全の見守り ◇放課後学習 ◇昔遊び ◇地域の話 ◇サマースクールの講師 ◇読み聞かせ ◇野菜育て ◇伝統文化の学習 ◇キャリア教育

《課題》

◇シニアの希望と学校とのずれがある。◇シニアの力を引き出す方法 ◇会場の確保
◇シニアが学校へ出てこられる仕組み、専用の部屋 ◇いろいろなシニアの参加

今回もグループワークは大いに盛り上がりました。シニアの特性を理解して、さらにその力を活かしていきたいと思いました。

川を教材として

放射能汚染禍も一段落し、昨年度あたりから川を教材として環境教育等に活用するケースが増えてきました。今年度は、把握した範囲では、三輪小学校、高ヶ坂小学校、南成瀬小学校、木曾境川小学校（台風のため教室で実施）、町田第五小学校が、鶴見川や恩田川や境川に出かけました。講師として、「エコネット町田」や「鶴見川源流ネットワーク」「地域」の方々に指導していただきました。

活動内容は、川の汚れの測定、ごみを集める、川の生物調査などです。季節や場所によって違いはありますが、町田の川は復活してきています。児童が川に入って学習できるようにきれいになったことがうれしいです。そして、けっしてかつてのような洗剤の泡が飛ぶ川にしてはいけないと思います。

課題として、境川について教えてくださるG Tの発掘をしていきたいと思います。



ハワイからの研修生を招いて国際交流・英語活動

今年度も、ハワイからの研修生 22 名をG Tとしてお招きし、5 地区の小中学校（成瀬台小学校・成瀬中央小学校・南成瀬小学校・高ヶ坂小学校・成瀬台中学校）で4 日間にわたり、国際理解教育や英語活動として授業が行われました。

この活動のねらいは、成瀬台にあるエヴァーグリーン・チャペル（内村牧師）と学校とが、同世代の子供たちが交流することによって国際理解とコミュニケーション能力を育成しようというものです。

学校にとっては2～7 年目の恒例の活動でも、児童生徒にとっては初めての経験です。ともに遊び、コミュニケーションをとる中から心が開放され、癒されていく様子がわかります。相手のことをわかりたい、自分の思っていることを伝えたいという意志が、コミュニケーションにとって大切と感ずる活動でした。



スポーツの秋 ^{マヤカ}「真也加監督」をお迎えして

第2回東京オリンピック開催決定、多摩地区での国体開催、町田市中学校連合陸上競技大会と、スポーツの秋の出来事が目白押しです。この連合陸上で総合優勝を飾った町田第二中学校では、桜美林大学駅伝部監督「真也加・ステファン氏」を招いて、陸上部40人近くの部員の指導を行っていただきました。

前半、真也加監督は、教室で自分の競技人生に基づいたスポーツ哲学を熱く話されました。

- ・競技はみんなが思っているほどハッピーではない。
- ・天候（風土）が作った日本人の粘り強さを大切にしよう。
- ・目標を持って、自分を信じて、練習に打ち込もう。そして町田から箱根を目指したい。

後半は、薄暗くなった校庭で、ケニア式の練習をしました。文字通り「真也加・ステファン ランニング教室」でした。生徒の真摯に走る様子を見て、命のほとぼしりが美しいなと感じました。



実りの秋を迎えて



各学校では、米やサツマイモを中心に何らかの作物の実りの秋を迎えているのではないのでしょうか。また、柿やザクロなど、校地内で果物が実る学校も多いかと思います。

10月4日には、町田第一小学校の校地内にある田んぼで、5年生による稲刈りがありました。最初に、地域支援者の方から（その中には一中VCの姿も）稲の刈り取り方を教わった後、一人ずつ鎌で刈りました。同校のVCも、子供たちが鎌を安全に使っているか、稲束ができているかなどを

見守りました。稲束ができたなら、「はぜ」に掛けていきました。米の産地では機械乾燥が主流になりましたが、天日干した「キヌヒカリ」は、間違いなく美味しいことでしょう。

事務連絡

【後期地区別VCミーティング開催について】

2学期の大きな行事が終わってから、2月の感謝状贈呈式の前に、地区別VCミーティングを開催してほしいと思います。

11月25日（月）から1月24日（金）の間をお願いします。今回は以下の学校に会場校をお願いします。中学校は、別途ご連絡します。また、中学校区ごとのミーティングも開催してください。報告を宜しくをお願いします。

第1地区	大戸小学校	第4地区	藤の台小学校
第2地区	函師小学校	第5地区	南大谷小学校
第3地区	大蔵小学校	第6地区	小川小学校

【東京都主催 第2回教育支援コーディネーターミーティングについて】

11月19日（火）午後2時～4時30分 会場：町田第一小学校
多摩地区の学校支援コーディネーターが情報交換をする
（詳細・申し込みは同封の案内状参照）

【教育支援コーディネーター・フォーラムについて】 ※申込は学校支援センターを通してください

12月14日（土）午前10時15分～午後4時30分（受付午前9時45分から）
会場：東京都庁第一本庁舎「大会議室」

第1部 全体会 午前10時15分～午後0時30分

教育支援コーディネーターと企業・団体との交流

第2部 分科会 午後1時30分～4時30分 分科会Ⅰ「出張授業・研究授業体験を通じて考えあう」

分科会Ⅱ「子供たちの学習や様々な体験・交流活動を豊かにしていくために」

【職場体験感謝状贈呈式にご参加を】

11月16日（土）午前10時から、市役所3階にて職場体験でご協力いただいている事業所に感謝状をお渡しする式典が行われます。町田市では職場体験に取り組み始めてから9年目になります。

学校関係者として、特に中学校のVCにもご参加いただければと思います。宜しくお願いします。

【教具紹介・座繰り】

前号で紹介した「糸車」は、ちょうどさがしていた2年生担任の目に留まり、すぐに貸し出すことができました。修理してくださったボランティアの方に感謝します。

引き続き、今回は繭から生糸を取り出す道具「座繰り」を紹介します。これも一部壊れていたものを、当時の用務主事に修理してもらったものです。市内小学校では、蚕を育て繭にした学校があると思います。糸取りをしたいが道具がないという学校はご連絡ください。繭で栄えた町田として、座繰りで生糸を取り出す経験も良いかと思えます。